



# 放射線相談室だより 64号

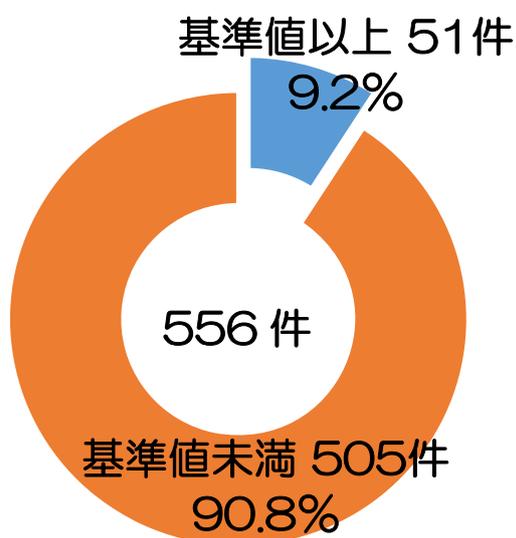
令和2年4月17日

1

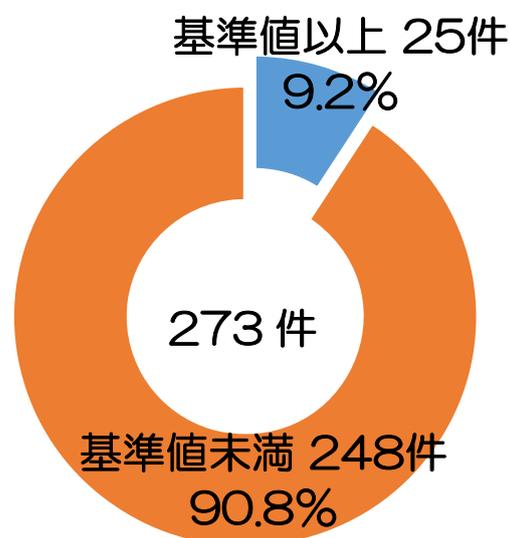
## 食品の放射能検査の結果について (令和元年度)

昨年度、町\*では273件の検査を実施しました。  
以前と比べてみてみましょう。

(※広野町放射線簡易分析センター)



平成30年度



令和元年度

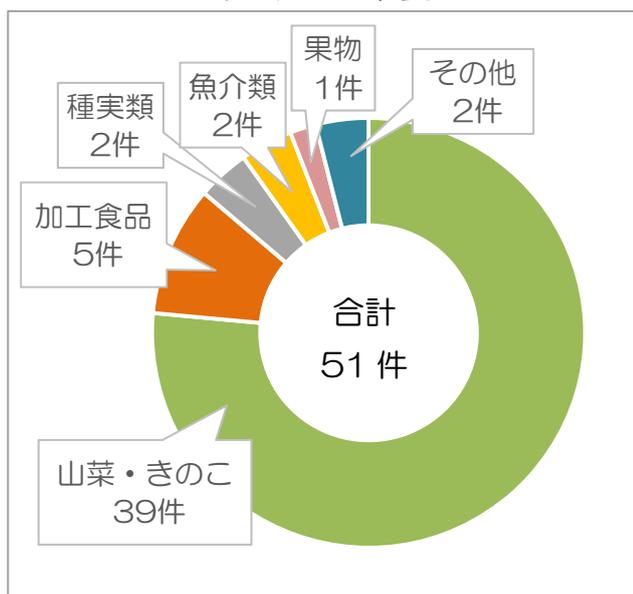
※【基準値】一般食品 100Bq/kg

前年度と比較すると、検査数が556件から273件に減ったものの、基準値以上の割合は変わりませんでした。

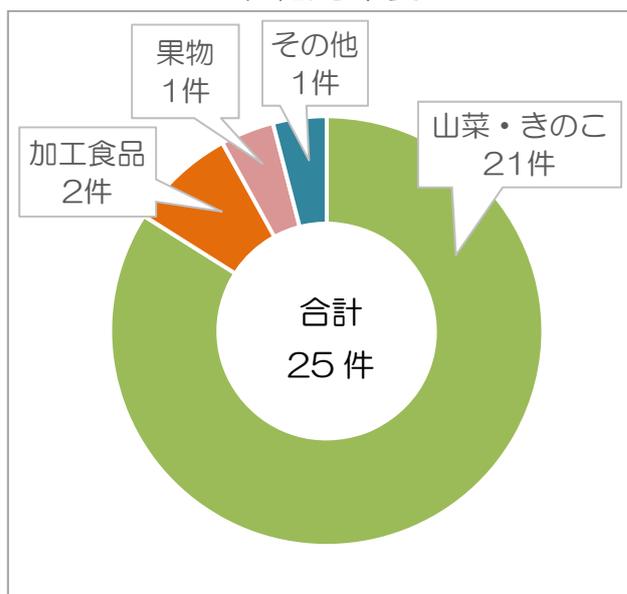


## 基準値以上の食品の内訳

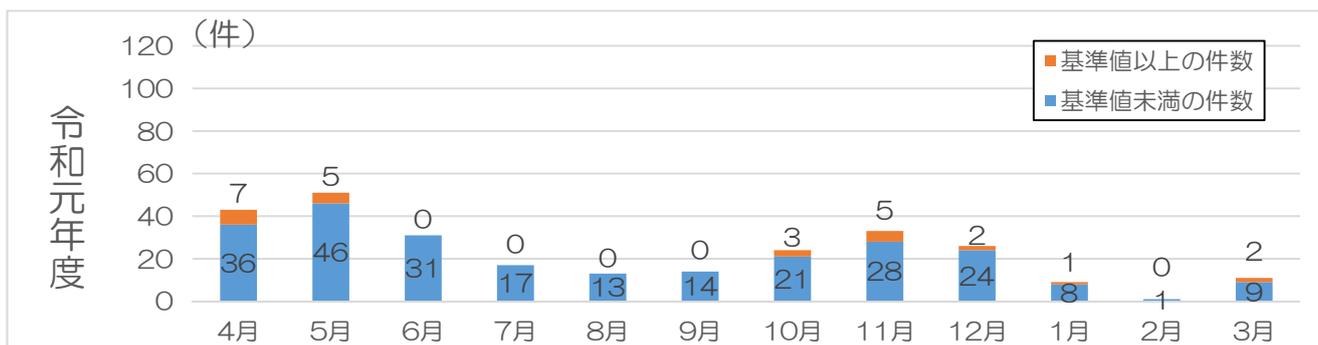
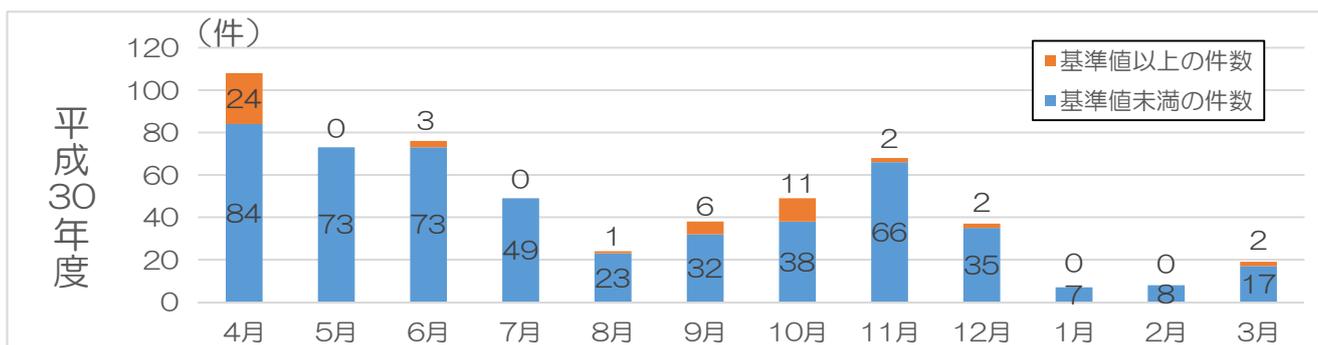
平成30年度



令和元年度



## 月別の検査結果の比較



これまでと同じく、「山菜・きのこ」に放射性物質が残りやすいことが見えています。

食品の放射能検査に関するお問い合わせは

☎080-3303-6805

までご連絡ください。

# 食品のモニタリング結果総括表

## (令和2年3月実施分)

【基準値】: 一般食品 100Bq/kg 牛乳・乳幼児製品 50Bq/kg 飲料水 10Bq/kg

規制のない食品	検査数	基準値未満	基準値以上	備考 (基準値以上の品目)
野菜	4	4	0	
根菜・芋類	-	-	-	
山菜・きのこ	7	5	2	シイタケ
果物	-	-	-	
穀類・種実類	-	-	-	
魚介類	-	-	-	
加工食品	-	-	-	
飲料水	-	-	-	
その他(肉類など)	-	-	-	
総検査数	11	9	2	

食品モニタリング結果の詳細については、公民館1階の放射能簡易分析センターと放射線相談室に置くほか、広野町ホームページに掲載しますのでご利用下さい。

右のQRコードを読み取ったあと、東日本大震災→放射線量・除染関連→放射線量情報の項目の中の「食品モニタリング」をクリックしていただくと見ることができます。



場 所	公民館1階 放射能簡易分析センター
曜 日	月曜日から金曜日(祝日を除く)
受付時間	午前8時30分～午後4時30分まで

## 広野町各地区の放射線量

令和2年4月15日13時30分現在(天候:晴)の町内各地区代表的な個所のモニタリングポストの数値をお知らせします。

測定箇所	放射線量率( $\mu$ Sv/h)	測定箇所	放射線量率( $\mu$ Sv/h)
広野小学校	0.08	広野町役場	0.09
広野中学校	0.07	高速バス利用者駐車場	0.16
広洋台地区集会所	0.09	上田郷橋付近 <sup>注1</sup>	0.14
二ツ沼公園 <sup>注2</sup>	0.08	北沢複合交差点	0.14
長畑地区集会所	0.10	県道広野～小高線沿	0.14
小滝平浄水場 <sup>注2</sup>	0.08	仮置場	0.09

注1 平成29年3月設置

注2 ニツ沼公園、小滝平浄水場のモニタリングポストは現地ではnGy/h(ナノグレイ毎時)で表示されていますが、 $\mu$ Sv/h(マイクロシーベルト毎時)に換算して掲載しています。



## 食品の放射能検査 Q&A

「一般食品」の基準値はなぜ 100Bq/kg なのですか？

年齢や性別などを 10 区分にわけて、限度値（通常の食生活を送れば、年間線量の上限值を十分に下回る水準）を算出した結果の中から、最も低い値（13～18 歳：120Bq/kg）を安全側に切り下げた 100Bq/kg を基準としました。これは、乳幼児をはじめ、すべての世代に配慮した基準です。

基準値について、放射性セシウム以外の放射性物質は対象にしていないのですか？

福島第一原発事故で放出された放射性物質のうち、半減期が 1 年以上のすべての放射性物質（放射性セシウム、ストロンチウム 90、プルトニウム、ルテニウム 106）を考慮しています。放射性セシウム以外は、測定に時間がかかるため、放射性セシウムと他の放射性物質の比率を用いて、すべてを含めても年間の被ばく線量が 1 ミリシーベルトをこえないように設定しています。

食べた放射性セシウムは体にたまるのですか？

食べ物に含まれている放射性セシウムは、代謝により便・尿等と共に徐々に排泄されます。



発行者

広野町放射線相談室

広野町健康福祉課放射線健康相談係

080-9252-4773

0240-27-2113